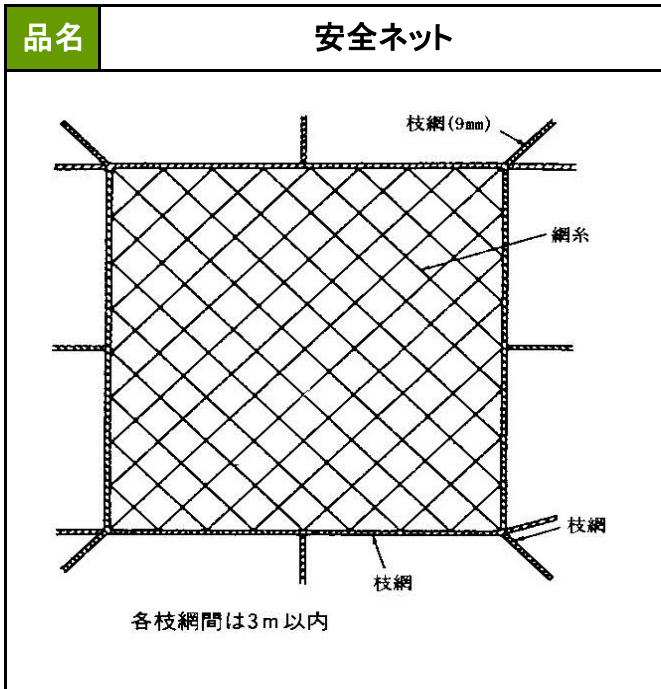


安全ネット



●規格・寸法

品名	寸法(m)	重量(kg)
安全ネット 5×5	5×5	6.3
安全ネット 5×10	5×10	12.5
安全ネット 6×6	6×6	10.8

●性能

品名	4.6φ安全ネット
結筋方法	蛙又結筋網
網地の素材	ナイロン
網地の太さ	210D/234本 (線径4.6φ)
網目の大きさ	100mm
網系(新品)強力	230kg
縁吊ロープの太さ	ビニロンF9φ
縁吊ロープの強力	1,700kg
仮設工業会認定品	認定品

●安全ネットの使用方法

(1)支点の吊りロープおよび縁ロープについて

ネットに人体(70kg)が落下した時、0.196kNの加速度に耐えるものとすれば、衝撃荷重 $70\text{kg} \times 0.196 = 13.7\text{kN}$ に耐えるロープが必要です。

- *ナイロンの場合……………9mm
- *ポリエステルの場合……………10mm

(2)許容落下高について

安全ネットの許容落下高Hは次式により求められます。

- *単体ネット…………… $H \leq 0.25 \times (L + 2A)$
- *複合ネット…………… $H \leq 0.12 \times (L + 2A)$

L: 単体及び複合ネットの辺長又は短辺長 (m)

A: 安全ネットの支持間隔 (m)

ただし、 $A \leq L$ の範囲では、 $A = L$ とする。

(3)ネット垂れについて

安全ネットの垂れは、ゆるい方が衝撃緩和が優れています。しかし、あまりゆるいと落下体が地面その他にあたる場合があります。ネットの垂れS及びネットの下部のあきKは次式により求められます。

- *ネットの垂れ…………… $S \leq 0.2 \times (L + 2A) / 3$
- *ネットの下部のあき…………… $S \geq 0.85 \times (L + 3A) / 4$

ただし、 $A \leq L$ の範囲では、 $A = L$ とする。

(4)支持点について

8点支持にした時より、4点支持の方が衝撃はやわらげられます。使用状況によっては、4点支持ではネットの周辺にすき間ができることもあるので、現場に応じて注意が必要です。

